

労災疾病等医学研究普及サイトの御案内
「石綿関連疾患診断技術研修（基礎・専門研修）」について

石綿（アスベスト）は、かつて建設資材や自動車部品などに利用されてきましたが、石綿繊維を吸入すると肺がんや中皮腫など、発症の原因となるため、現在は製造・使用等が禁止されています。

石綿関連疾患の診断及び石綿ばく露所見の判定にはエックス線写真の読影等が必要となりますが、その判断には困難な事例が多く、また、医学的な知識・経験に加え、石綿ばく露等についての知識も必要となります。

当機構では、呼吸器系の疾患を取り扱う医師や産業医などの医療関係者を対象に、石綿関連疾患の診断技術の向上及び労災補償制度の周知を図るため、石綿関連疾患の診断方法、石綿ばく露の所見に関する読影方法及び労災補償制度の取扱い等についての研修を実施しております。

今年度の研修日程につきましては、下記リンクに掲載しております（本研修は認定産業医の単位取得対象です。）。

→ <https://www.research.johas.go.jp/asbestokenshu/>

お申し込み方法については、開催地の産業保健総合支援センターへお問い合わせください。